

# CISSP-WG

CISSP WG リーダー

NTTコミュニケーションズ株式会社 大河内 智秀

## ■ はじめに

(ISC)<sup>2</sup>(※1)が提供しているITセキュリティプロフェッショナル認定資格『CISSP』(※2)は、幅広いドメインに渡った試験内容で既にグローバルで実績があり、試験問題の日本語化に伴い、日本特有のドメインの新規策定などが望まれていました。このような要望に対し、検討母体となるべく2004年8月26日に(ISC)<sup>2</sup>とJNSAがMOUを締結しました。その内容は次のようなものです。

- (1) 世界中のCISSPによって更新されている試験問題を、日本在住のCISSPも作成し、(ISC)<sup>2</sup>に提案すること。
- (2) グローバル共通知識であるCISSPに加え、日本特有のドメインを追加した資格試験ISSJPN(仮称)を作成すること。

以上の2点についてJNSAが中心になって検討してゆくことになりました。

今後は、(1)は(2)の作業を優先させるため一時保留とし、(2)についての中間報告書を2005年3月末に(ISC)<sup>2</sup>に対して提出するよう作業を行う予定です。また、9月末までに検討結果及びそれ以降の方向性を提出することとしています。

## ■ JNSAでのCISSP-WGの活動について

前記の動きを受け、CISSP-WG発足に向けて、教育部会として2004年9月27日に第1回CISSP-WG発足準備会を開催しました。これまでに18名が集まり、2005年3月までに計5回の会合を実施しました。また、2月24日の教育部会、3月2日の幹事会において、4月からCISSP-WGとして正式に活動することが承認されました。

ISSJPN策定にあたり、現メンバーに加えて総務省などからも数名のオブザーバーに参加頂き、9月末を目処に受験対象者の検討及び対象者に必要と思われる知識ドメインの検討を行う予定です。検討内容と

しては、例えば、自治体職員、ベンダー側の各案件責任者向けに日本の法律、倫理、通信、BCP、等々が考えられます。

## ■ CISSP-WGメンバー募集

ISSJPNを策定するにあたり、CISSP-WGのメンバーを募集していますが、このWGは参加条件を設定しています。ISSJPNは、グローバル共通知識を持つCISSP「+α」の資格として位置づける為、CISSP取得者もしくは、既にCISSP/CBK10ドメインの内容を十分理解されている方の参加を希望しています。「+α」は、日本特有の知識部分をイメージしています。

尚、このWGは、CISSP合格を目指す為の勉強会ではないことをご理解の上ご参加を頂けるようお願いいたします。また、このWGに参加頂くことにより、CISSP継続維持教育であるCPEクレジットが自動申請にて蓄積できます。

尚、WG活動に関する説明会を5月19日(木)、17時30分から開催予定です。説明会詳細およびWGに参加ご希望の方は、JNSA事務局までご連絡ください。



「CISSP-WG準備会活動」

(※1) (※2)の詳細については、<https://www.isc2.org/japan>を参照してください。